

製品名: ポリコムタンパク質 SUZ12 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21550**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:83kD;Observed MW:83kD

抗原情報

遺伝子名	SUZ12
別名	SUZ12;CHET9;JAZ1;KIAA0160;Polycomb protein SUZ12;Chromatin precipitated E2F target 9 protein;ChET 9 protein;Joined to JAZF1 protein;Suppressor of zeste 12 protein homolog
遺伝子 ID	23512.0
SwissProt ID	Q15022
免疫原	ヒト SUZ12 の合成ペプチド

背景

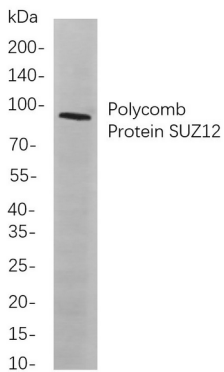
細胞局在: 核。このジンクフィンガー遺伝子は、子宮内膜間質肉腫で報告されている反復性染色体転座の切断点で同定されていま

す。これらの切断点の組換えにより、この遺伝子と JAZF1 が融合します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、コード領域の C 末端にジンクフィンガードメインを有します。[RefSeq 提供、2009 年 7 月]

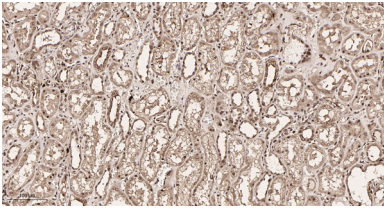
研究分野

-

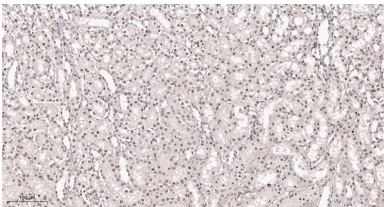
画像データ



A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。ポリコムタンパク質 SUZ12 ウサギ mAb を使用。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。1、ポリコムタンパク質 SUZ12 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。



パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。1、ポリコムタンパク質 SUZ12 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。